



兩換營業規則

808





兩換營業規則

第一章 兩換本業ノ規則

第一條 此規則ニ於テ兩換ノ本業トナス者ハ左ノ
二項ノ事業ヲ以テスヘシ

第一 金銀銅貨及紙幣ノ種類交換ヲナス事

第二 外國貨幣及古金銀ヲ賣買スル事

第二條 何人ヲ論ヤス(外國人ヲ除クノ外)一名一戸
獨立シテ專ラ兩換ノ本業ヲ管ム者ハ勿論又ハ他
ノ商業ヲ管ミ兼テ兩換ノ業ヲ管ム者ト雖モ總テ
此規則ヲ遵奉シテ其營業ニ従事スヘシ尤此規則
ヲ遵奉スルモ他ノ商業ヲ兼管ムハ勝手タルヘシ
第三條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ本業ヲ管ム者左
ノ三項ノ事業ヲ兼管ムトキハ本業ト同シク第

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

條ニ準テ實際營業ノ報告書ヲ差出スヘシ

第一 諸為換ヲ取組又ハ諸手形並ニ證書ヲ割引スル事

第二 金銀ヲ貸付リ又ハ諸預リ金ヲナス事

第三 公債證及金銀ノ地金ヲ賣買スル事

第四條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ本業ニ従事セン
トスル者ハ他ノ商業ヲ兼営ムト否ルトヲ論セス
財産ノ四以上ヲ所有シタル者ニ限ルヘシ尤モ四
未滿ノ財産ニシテ少額ノ金員ヲ交換スル者即ハ
商賈ノ旁ヲ車馬人足ノ貸銀等ヲ交換スル類ニシ
テ從來錢兩換ト唱フル者ノ如キハ此規則ヲ以テ
制限セサルヘシ

第五條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ営ム者破産

閉店スルトキハ都テ無責任ヲ負擔シ身
代ヲ限リテ其負債ヲ償却スルノ責ニ付スヘシ

第二章 創業ノ順序

第六條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ営ムトス
ル者ハ何人ヲ論セス外國人ヲ除ク外第一号離
形ニ照準シ創業願書本紙一通正寫二通ヲ製シ本
紙正寫ノ別ナク其出願人自ラ記名調印シテコレ
ヲ其管轄地方官廳ヘ差出スヘシ
但創業願書ハ本紙正寫共戸長ノ與肩鈐印シタ
ルモノタルヘシ

第七條 地方官右願書ヲ領受スルトキハ出願人ノ
現有金、貸付金、公債証及地券所持ノ金額ヲ探偵
シ若負金ノ額ナルモノハ之ヲ差引其財産ノ四以

上ヲ取
ハル者ト確認スルトキハ右願書ノ正寫
一通ヲ其官廳ニ保存シ本紙一通正寫一通ハ採
領ノ實際ヲ添付シテ之ヲ東京大藏省ノ紙幣寮ヘ
差出スヘシ

第八條 紙幣頭右願書及ヒ地方官ノ添書ヲ參勘シ
不都合ノ處アルニ非レハ大藏卿ニ稟議シテ之ヲ
准許シ右願書ヘ指令ノ上其地方官廳ヘ回送スヘ
シ

第九條 地方官右指令濟ノ願書ヲ領受スルトキハ
第二号雛形ニ準シテ招牌ヲ製シ焼印及番号其
他ノ記入ナシ其願書ト共ニ之ヲ出願人ヘ下付
スヘシ

但地方官ニリ招牌ヲ下付スルトキハ手数料ト

シテ金壹圓ヲ其地方官廳ヘ納メコレヲ取
纏メテ甲年七月ヨリ乙年六月ヨリ毎年
七月三十一日マテニ租税寮ヘ上納スヘシ

第三章 組合設置ノ方法

第十條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ノ管ム者ハ其
區内町村地勢ノ便宜ニ任レ協議ノ上組合(組合ト
ハ資金ヲ合併シテ結合シタル會社等ノ類ヲ云フ
ニ非ス即從來稱スル取ノ兩換仲間質屋仲間等ノ
如キ者ヲ云フ)ヲ設ケ拾名乃至三十拾名宛ヲ以テ志
組トナシ其營業ノ事件ニ付テハ總テ其組合中協
議シテ以テ之レニ從事スヘシ而シテ組合設置ノ
上ハ其町名又ハ村名等ヲ以テ其名称ヲ撰定シ
一組合 稱スヘシ

但一、内ト雖モ地勢懸隔シテ組合ヲ設置スル
ニ便ナラサル地方ハ本條以下第 條マテノ
規定ヲ遵奉スルニ及ハサルヘシ

第十一條 此規則ヲ遵奉シ組合ヲ設ケテ兩換ノ業
ヲ営ム者ハ右組合中協議ノ上適當ノ者寺名ヲ撰
定シテ取締トナシ之ヲシテ其組合中營業ノ総務
ヲ監督セシムヘシ

但取締撰挙ノ方法ハ其組合中投票ノ多數ヲ以
テ之ヲ定ムヘシ

第十二條 右取締撰定ノ上ハ第三号雛形ニ準シテ
其組合中ノ申合規則本紙並通正寫並通ヲ製シ本
紙正寫ノ別ナリ組合中各之ニ記名調シ之ヲ其
管轄地方官廳ヘ差出スヘシ

トキハ正寫並通ヲ其官廳ニ提出シ他ノ本紙正寫
ノ並通ハ添付ヲ付シテ之ヲ紙幣寮ヘ提出スヘシ
但右申合規則ノ本紙ハ志錢ノ印紙ヲ貼用シタ
ルモノタルヘシ

第十三條 紙幣頭右申合規則ヲ檢案シ不都合ノ廉
アルニ非レハ本紙ハ紙幣寮ニ保存シ其正寫ハ與
書鈐印シテコレヲ其地方官廳ヘ回付スヘシ而シ
テ地方官ヨリ之ヲ其取締ヘ下付スヘシ

第十四條 右申合規則ニ最初同意連署シタルモノ
ハ勿論何人ヲ論セス外國人ヲ除ク外新ニ加入
シタル者ト雖モ苟モ此申合規則ニ記名調印シタ
ル上ハ即チ其組合中ノ一員ニシテ其營業ノ事件
ニ付テ 同 等ノ權利ヲ有シ其營業ニ従事ス

ルヲ得レ

第十五條 右取締タル者ハ常ニ其組合中各此^規則ヲ確守シ且其申合規則ノ箇條ヲ履行スルヤ否ヲ觀察シ其營業上於テ互相ノ便宜ヲ謀リ若シ不都合ノ者アルニ於テハ時々之ヲ矯正スルヲ以テ其職掌トナスヘレ

第十六條 右組合中營業ノ事件ニ付官廳ニ關係スル所ノ事務ハ一切取締ニ於テ經理擔任スヘレ

第十七條 右取締撰定ノ後ハ其給料ニシテ一月月金五圓ニ起ハサル員額ヲ組合総員ヨリ出金シ毎月末ニ之ヲ支給スヘレ

但營業ノ事件ニ付其組合中一般ニ關係スル取
ノ諸費用ハ現費ヲ以テ組合員ヨリ爾時賦

当出金スヘレ

第十八條 右取締其職任ニ堪サルカ又ハ疾病事故アリテ之ヲ退任セシメントスルトキハ其組合総員ノ協議ヲ尽シ第 條ノ手續ニ準據シ更ニ新任ヲ撰挙スヘレ但其新任決定ノ上ハ第四号雛形ニ照準シ其届書ヲ製シ地方官廳ヲ經テ之ヲ紙幣寮ヘ差出スヘレ

第十九條 此規則第五條組合決定ノ後新ニ其組合ニ加入シテ營業セントスル者ハ第五号雛形ニ準シ創業願書ヲ製シ其加入組合取締ノ奥書鈐印ヲ受リ都テ第一條ノ手續ヲナシ其地方官廳ヲ經テ此際ニ於テ地方官ハ第 條ニ掲クル如ク出願人ノ財産ニ保償スヘレ之ヲ紙幣寮ヘ差出スヘレ而

レテ右ノ旨ヲ領受スルニ於テハ紙幣頭ハ第二條ノ規定ニ從テ之ニ處合スヘシ

第二十條 右創業願書ニ紙幣頭ノ準許ヲ受ケ地方官ヨリ招牌ヲ領受スルニ於テハ出願人ハ其旨ヲ當任ノ取締ハ照會スヘシ取締ハ其照會ヲ得テ其旨趣ヲ組合総員ニ報知シ而レテ第三号縦形ニ準據レ豫テ管守スル處ノ申合規則一記名調印セシムヘシ

但紙幣寮及ヒ地方官廳へ差出シタル申合規則ノ本紙正當ノ貫通ヘハ此記名調印ヲ追加セシムルニ依ハサルヘシ

第四章 營業ノ制限

第二十一條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ営ム者

ハ其準許ヲ得タル日ヨリ十年ヲ以テ一期限トス満期ノ際尚此業ヲ取締カントスルモ、更ニ第一條又ハ第三條ニ照準シ出願ノ上準許ヲ得テ其業ヲ営ムコトヲ得ヘシ

第二十二條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ営ム者通貨ノ交換ヲナスニ當リ請求人ヨリ要求スル所ノ打歩又ハ手数料ハ其交換金額千分壹五(即百圓ニ付拾五錢)ノ割合ヲ超過ス可カラス若此制限ヲ犯シテ要求スル者ナルニ於テハ三月ヨリ少ナカラス五拾圓ヨリ多カラサル罰金ヲ納メシムヘシ

第二十三條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ営ム者ハ金銀ノ貸付ヲナスニ當リ尋常利息ノ外禮金又ハ口銭ハ手数料等ノ名義ヲ以テ一切他ノ金員

ヲ借主　リ要求スヘカラス若此規定ヲ犯ス者
ルニ於テハ其金員ヲ借主ヘ返償セシメ更ニ拾圓
ヨリ少ナカラス百圓ヨリ多カラサル罰金ヲ納メ
シムヘシ

第二十四條　此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ管ム者
ハ諸預リ金ヲ以テ他ヘ運轉流用スルニハ其預リ
金總額ノ内少クトモ十分ノ二五（即ニ割五分）ヲ引
残シ其返金ノ準備トシテ常ニコレヲ積立置リヘ
シ

但定期預金ハ其定期ヲ過ル可ラス右延期アル
トキハ一旦其決算ヲナシ而シテ後更ニ定期預
ノ手續ヲナスヘシ

第五章　一般條件

第二十五條

此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ管ム者
ハ何人又ハ何組合ヲ論セハ地方官其營業ノ正否
ヲ詳悉シ損壞紙幣交換ノ事業ヲ命スルニ適當ナ
リト確認レテ且旨ヲ紙幣頭ヘ照會スルニ於テハ
紙幣頭ハ之ヲ審按シ大藏卿ノ稟議ノ經損札引換
規則ニ照準シテ其業ニ従事セシムルヲアルヘシ
但右交換ニ従事スル者ハ其手数料トシテ其引
換タル金額十分ニ割合ヲ以テ地方官廳ヲ經
テ紙幣寮ヨリ支給スヘシ因テ此ノ命ヲ奉スル
者ハ其交換ノ打歩又ハ手数料ヲ人民ヨリ請求
スルヲ許サス

第二十六條

此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ管ム者
ハ前條紙幣頭ノ命令ナリシテ各相對ヲ以テ損壞

紙幣ノ交換ニ從事スル者ハ其交換ノ打歩又ハ手
數料ハ前條規定ノ員額(即十分ノ貳)ニ超過セサル
割合ヲ以テ之ヲ人民ヨリ請求スヘシ若此制限ヲ
犯シテ要求スル者アルニ於テハ三回ヨリ少ナカ
ラス五拾回ヨリ多カラサル罰金ヲ納メレムヘシ
第二十七條 此規則ヲ遵奉セラ兩換ノ業ヲ管ム者
改名又ハ代換リ又ハ轉居等ノ事アルトキハ其旨
ヲ地方官廳ヘ届出テ招牌ノ書換ヲ請フヘシ而レ
テ地方官ハ招牌ノ書換ヲナシ之ヲ出願人ニ下付
シ手数料トシテ更ニ金壹圓ヲ納メレムヘシ
但地方官ハ本條ノ手續ヲ了リタル後其旨ヲ紙
幣寮ヘ報知スヘシ

第二十八條 此規則ヲ遵奉セラ兩換ノ業ヲ管ム者水

九

火盜難ニヨリテ其招牌ヲ毀失スルコトアルトキ
ハ前條ノ手續ニ準シ更ニ新規招牌ノ下渡シヲ請
フヘシ尤其手数料ハ前條規定スル所ノ同額ヲ以
テ尔時之ヲ納メレムヘシ

第二十九條 地方官ハ其管内何人又ハ何組合ヲ論
ヤス此規則ヲ遵奉セラ兩換ノ業ヲ管ム者此規則ヲ
遵守履行スルヤ否ヲ觀察シ若シ此規則ニ背戾ス
ル者アリト認ルトキハ臨時吏員ヲ派遣シテ管業
實際ノ検査ヲナシ其趣ヲ詳細紙幣頭ニ報知スヘ
シ

但管業ノ事件ニ付其實際ニ就テ之ヲ推究セサ
ルヲ許サル者アルニ於テハ紙幣頭ヨリ其地方
官ニ照會レテ之ヲ検査セシムヘシ且ツ紙幣頭

ヨリ臨時其吏員ヲ派遣スルヲモラルヘシ

第三十條 右ノ報知ヲ得テ紙幣預其次第ヲ審案シ
此規則ニ背戾スルコト相違ナキニ於テハ之ヲ大
藏卿ニ稟議レ招牌ヲ取上ケ其業ヲ廢止セシムヘ
シ

第三十一條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ管ム者
ハ第六号離形ニ照準レ其前年十二月マテ管業實
際ノ報告ヲ製レ組合ヲ設ケタル者ハ各々之ヲ取
締ヘ差出シ取締ニ於テ其組合一同ノ分ヲ取締メ
毎年一月三十一日マテニ之ヲ地方官廳ヘ差出ス
ヘシ若此日限ヲ過キテ差出サハルトキハ一日ニ
付壹圓ノ罰金ヲ納メシムヘシ
但地方官右報告ヲ領受スルトキハ速ニ之ヲ紙

幣案ヘ差出スヘシ

第三十二條 前條定例報告ノ外紙幣頭要用ナリト
思考スルトキハ更ニ臨時報告ヲ差出サシムルヲ
アルヘシ其差出方ハ臨時地方官廳ヲ經テ紙幣頭
ノ命シタル日ヨリ二十日以内(郵便日數ヲ除クニ
其地方官廳ヘ差出スヘシ若此日限ヲ過キテ差出
サハルトキハ一日ニ付前條同額ノ罰金ヲ納メレ
ムヘシ

第三十三條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ管ム者
金銀ノ交換ヲ請求スル者アルニ際シ其金額身分
不相應ト思考スルトキハ必ス正確ナル者ヲ以テ
保証人トナシ而シテ之ニ從事スヘシ若其金額監
賍ニ係ルト察スルトキハ巡查吏取又ハ區戸長役

場へ報知スヘシ

第三十四條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ営ム者
金銀交換ノ際ニ於テ贋造貨幣ヲ見出ストキハ明
治九年第五十七号布告贋金銀銅貨紙幣取扱規則
ニ照準シテ之ヲ處分スヘシ

第三十五條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ営ム者
其営業ノ事件ニ付テ差出ス所ノ願同届報告其他
一切ノ文書ハ必ス本紙幣通正寫貳通都合三通ヲ
製シ(組合ヲ設ケタル者ハ取締ノ票書鈐印ヲ付)其
管轄ニ方官廳へ差出スヘシ而シテ正寫貳通ヲ地
方官廳ニ保存シ本紙正寫ノ貳通ハ添書シテ紙幣
寮へ差出スヘシ

但願同等其指令スル者ノ如キ 紙幣寮ヨリ地

方官廳ヲ經テ之ヲ本人へ下付スヘシ

第三十六條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ営ム者
其年限中事故アリテ廢業セントスルトキハ願届
ヲ製シテ(組合ヲ設ケタル者ハ取締ノ票書鈐印ヲ
得)前條ノ手續ヲ以テ之ヲ紙幣寮へ差出スヘシ而
シテ其承認ヲ得ルニ於テハ兼テ領受シタル招牌
ヲ其地方官廳へ還納スヘシ

第三十七條 前條廢業セントスルニ際シ預リ金其
他仕拂フヘキ金額ニシテ全ク其営業ニ係ル負債
アルトキハ少クとも三十日以前ニ於テ其旨ヲ預
メ主又ハ債主へ報知シ其仕拂期日至ラサル者ト
雖モ該テ之ヲ返還スルノ責ニ任スヘシ

第三十八條 此規則ニ於テ明言セル罰金ヲ以テ處

分スヘキ者ハ勿論罰金ノ明言ナキ者ト雖モ苟モ此規則ニ背戾スル者アルニ於テハ總テ其地方裁判所ニ於テ之ヲ裁判處分スヘシ

但罰金ノ明文ナキ者ハ其時其裁判所ニ於テ相當ト思考スル所ノ罰金(三四ヨリ少ナカラス三拾四ヨリ多カラサル金額)ヲ納メレムヘシ

第六章 制禁

第三十九條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ営ム者ハ諸預リ金ニ對シ振出ス所ノ預リ手形及為替手形ヲ亦クノ外望次弟持參人ヘ仕拂フヘキ約束手形又ハ証書其他貨幣同様ニ通用スヘキ諸手形又ハ切手ノ類ヲ發行シ又ハ預リ金ニ對シハ切手帳等ヲ製シテ之ヲ預リ主ヘ付與シレヲ振出サシ

ムルヲ禁ス若此等ノ數件ヲ犯スルアルニ於テハ國法ニ從テ罰スヘシ

第四十條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ営ム者ハ他人ニ誘導シ株券ヲ製シ之ヲ發行賣買スルハ勿論又ハ敷金等ノ名義ヲ以テ金銀ヲ募集スルカ如キ所業ヲナスヲ許サス若此等ノ件ヲ犯ス者アルニ於テハ其全員ヲ償却セシメ更ニ五拾四ヨリ少ナカラス貳百四ヨリ多カラサル罰金ヲ納メレムヘシ

第四十一條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ営ムトスル者ハ第一條第二條又ハ第三條ノ手續ヲ經テ紙幣頭ノ準許ヲ得招牌ヲ領受スルニ非レハ其業ニ從事スルヲ許サス故ニ若十回以

上ノ財産ヲ所有スル者ニシテ此手續ヲ怠リ招牌
 ヲ掲ケスレテ營業スル者アルニ於テハ其業ヲ廢
 止セシメ更ニ指回ヨリ少ナカラス百圓ヨリ多カ
 ラサル罰金ヲ納ムシムヘシ
 第四十二條 此規則ヲ遵奉シテ兩換ノ業ヲ管マン
 カ爲メ領受スル取ノ招牌ハ何人ヲ論ヤス之ヲ賣
 買シ又ハ之ヲ貸借スルヲ許サス者此規定ヲ犯ス
 者アルニ於テハ其招牌ヲ取上テ賣主又ハ貸主共
 指回ヨリ少ナカラス百圓ヨリ多カラスナル罰金ヲ
 納ムンムヘシ

第一号創業願書雛形

第一号創業願書雛形

創業願書

私等明治十一年一月一日御制定ノ兩換營業規
 則ヲ遵奉シ兩換營業仕度此度奉願候也

一、兩換下第、大區、小區、一、樹、一、當地
 華士族、三、八、平民

明治十一年一月一日

何 某 印

紙幣願何某殿

前書之通出願仕度旨申出候間與書鈐印ノ上
 開申仕候也

右戸長

明治十一年一月一日

何 某 印

大 蔵 省

第二号招牌雛形

二尺五寸



第三号申合規則

一 組合申合規則

此申合規則ハ明治一十年一月一日制定奉行セ
ラレタル兩換管業規則ヲ遵奉シ當組合ヲ設
ケ管業ノ便利ヲ謀ル為組合總長ハ議ノ上決
定スル者ニレ、今其條件ヲ分
コトメ、如

四一四

第一條 當組合ノ名称ハ一一組合ト稱フヘシ

第一條 當組合ニ加入シテ兩換ノ業ヲ管ム
者ハ金銀ヲ貸付ケ諸預リ金ヲナシ又ハ為
換ヲ取組ミ諸手形並ニ諸証書ヲ割引シ又
公債証書及外國貨幣並ニ金銀銅ノ地金ヲ
売買スルヲ得ヘシ

第三條 此申合規則ニ最初同意連署シタル
者ハ勿論新ニ加入シタル者ト雖モ申合規
則ニ記名調印シタル上ハ即當組合中一
員ニシテ其管業ノ事件ニ付テハ總テ同等
ノ權利ヲ有シ兩換管業ニ從事スルヲ得ヘ

第四條 当組合ハ組合総員ノ内ヨリ取締者
名ヲ撰定スヘシ其撰挙ノ方法ハ組合総員
投票ノ多數ヲ以テ之ヲ定ムヘシ而シテ当
任ノ取締其職任ニ堪ヘサルカ又ハ疾病事
故アリテ之ヲ退任セシメントスルトキハ
組合総員ノ協議ヲ尽シ前同様ノ方法ヲ以
テ更ニ新任ヲ撰挙スヘシ

第五條 右取締タル者ハ当組合中各官業規
則ヲ遵守シ且此申合規則ノ箇條ヲ履行ス
ルヤ否ヲ觀察シ其官業上互相ノ便宜ヲ謀
リ若テ都合ノ者アルニ於テ、尔時之ヲ矯
正スルヲ以テ其職掌トナスヘシ

第六條 当組合中官業ノ事件ニ付官業ニ関
係スル取ノ事務ハ一切当任ノ取締ニ於テ
董括處分スヘシ

第七條 当組合取締ノ給料ハ一月金一圓
ト定メ組合総員ヨリ出金シ毎月末ニ之ヲ
給與スヘシ

但官業ノ事件ニ付其組合中一取ニ関係
スル取ノ諸費用ハ現費ヲ以テ組合総員
ヨリ尔時賦当出金スヘシ

第八條 当組合ハ新ニ加ハスル者アリテ諸
般ノ手續ヲナシ紙幣頭ノ準許ヲ得ルヲ於
テハ其旨ヲ当任ノ取締ニ照會スヘシ而シ
テ取締ハ其旨趣ヲ組合総員ニ報知シ新加

入ノ者ヲレテ此申合規則ニ記名總印セシ
ムヘシ

第九條 当組合ニ加入シタル各員ハ通貨ノ
交換又ハ損壞紙幣ノ引換ヲナスニ当リテ
其打歩又ハ手数料ヲ要スルニ通貨ハ其交
換金額十分寺(即百四ニ付拾錢)損壞紙幣ハ
其引換金額十分貳(即百四ニ付貳拾錢)ノ割
合ヲ超過スルヲ得ス

第十條 当組合ニ加入シタル各員ハ金銀
貨付ヲナスニ当リ尋常利息ノ外禮金又ハ
口錢又ハ手数料等ノ名義ヲ以テ一切他ノ
金貨ノ借主ヨリ要求スルヲ得ス

第十一條 当組合ニ加入シタル各員ノ營業

第六
一六

規則第六号離形ニ照準シ其前年十一月マ
テ營業實際ノ報告ヲ製シ毎年一月一日マ
テニ之ヲ当任ノ取締一差出スヘシ而シテ
取締ハ毎年一月三十一日マテニ之ヲ地方
官廳一差出スヘシ

第十二條 当組合ニ加入シタル各員ハ何人
ヲ論ヤス金銀ノ交換ヲ請求スル者アルニ
際シ其金額身分不相應ナリト思考スルト
キハ必ス正確ナル者ヲ保証人トナシ而シ
テ之ニ従事スヘシ若其金額盜贓ニ係ルト
察スルトキハ速ニ巡查吏署又ハ區戸長役
場ヘ届出ワヘシ

第十三條 当組合ニ加入シタル各員ハ金銀

交換ノ際ニ於テ廢造貨幣ヲ見出ストキハ
明治九年第五十七号布告廢金銀銅貨紙幣
取扱規則ニ照準シテ之カ處分ヲナシ一切
他ニ流通ス可カラス

第十四條 当組合ニ加入シタル各員ハ諸預
リ金ニ對シ振出ス所ノ預リ手形及為換手
形ヲ除クノ外望次第持券人ヘ仕拂フヘキ
約束手形又ハ証書其他貨幣同様ニ通用ス
ヘキ諸手形又ハ切手ノ類ヲ発行レ又ハ預
リ金ニ對シ小切手帖等ヲ製セラ之ヲ預ケ
主ヘ貸與シコレヲ振出サレムルヲ得
第十五條 当組合ニ加入シタル各員ハ他人
ヲ誘導シ株券ヲ製シ之ヲ発行賣買スルハ

勿論又ハ敷金等ノ名義ヲ以テ金銀ヲ募集
フルカ如キ所業ヲナス可カラズ

第十六條 当組合ニ加入シタル各員領受レ
ル招牌ハ何人ヲ論ヤス一加之ヲ賣買シ
又ハ貸借スルヲ得ス

第十七條 当組合ニ加入レ兩換ノ業ヲ営ム
者破産開店スルヲ得ルニ於テハ其負債ハ
其本人ニ於テ都テ無限ノ責任ヲ負擔シ其
身代ヲ限リテ悉皆之ヲ償却スルノ責ニ任
スヘシ

右之條々当組合總員ノ集議ヲ以テ相定候其
証據トレテ私共一同姓名ヲ記シ調印仕候也

縣管下第一區一小區一組
第一組合

明治1年1月1日

何某印

何某印

何某印

何某印

何某印

何某印

1年1月1日加入
1年1月1日加入
1年1月1日加入

右申合規則一組合總連印ノ後新ニ加入スル者
ヲシテ記名調印セシムルヲ豫テ餘白ヲ設ケ置
新加入ノ者記名調印スルトキハ離形ニルシタ
ル如ク其姓名ノ上加入ノ年月日ヲ記載スヘシ
右申合規則ハ組合總員協議ヲ以テ草定シ取締
撰定ノ上左ノ與看ヲ加ヘテ之ヲ其地方官廳ヘ

八二八

差出スヘシ

右ハ当ト一組合總員ノ協議ヲ以テ決定シ組
合總員各記名調印シタル申合規則ニ相違無
之候因テ其証據トシテ私茲ニ記名調印仕候
也

組合
取締

明治1年1月1日

何某印

紙幣頭何某殿

右ハ一組合申合規則ノ正寫ニシテ其本紙
ハ正ニ之ヲ本寮ニ領受シ其事ヲ承認シタル
ニヨリ記名調印ノ上下付スルモノ也

明治1年1月1日

第四号取締新任屆層離形

取締新任御届書

當一、組合取締何某儀一月一日退職仕候ニ
 付更ニ組合一同ノ協議ヲ以テ何某ヲ取締
 撰定仕候此段御届仕候也

縣管下第一區、小區、組合

明治十一年一月一日

連名印

局
一
九

前書之通相遠無御坐候也

旧取締

明治十一年一月一日

何某印

新取締

何某印

紙幣頭何某殿

但組合連印ノ取ハ、新旧取締兩名ヲ除クヘシ
第五号新加入創業願者離形

創業願書

私儀明治十一年一月一日御制定ノ兩換管業規
則ヲ遵奉シ、組合へ加入致シ兩換管業仕

度此段奉願候也

一、縣管下第一大區一小區一棚一畝地
華士族又八平民

明治一一年一月一日

何某印

前書出願ノ趣御允許ノ上ハ当組合へ加入為
仕度因テ奥昏鈐印仕候也

一、組合
取締

明治一一年一月一日

何某印

紙幣願何某殿

前書之通出願仕度旨申出候間奥書鈐印ノ上
開申仕候也

二〇

右

戸長

明治一一年一月一日

何某印

第六号報告昏離形甲

第一回實際報告昏

一、縣管下第一大區一小區一棚一畝地

華士族又八平民

何某

資産權利ニ属スル分

一金一一四

金銀有高

一金一一四

地金(金銀又ハ銅)

一金一一四

公債証昏

一金一一四	貸付金
一金一一四	割引金形
一金一一四	他店為換手形並約束手形
一金一一四	荷為換手形
一金一一四	他店為換貸
一金一一四	質物流込
一金一一四	
一金一一四	
總計一一一四	
負債義務ニ属スル分	
一金一一四	御用預り金
一金一一四	定期預り金

189

金一三二

一金一一四	当座預り金
一金一一四	仕拂未済為換手形
一金一一四	約定預り並別段預り金
一金一一四	他店為換付
一金一一四	諸負債
一金一一四	
一金一一四	
一金一一四	
總計一一一四	
右ハ明治一十年十二月三十一日ニ於ケル負債	
並ニ資産共前書ノ通相違無御座候也	
明治一十年一月一日	右
	何景印
大藏省	

紙幣可集段

2

平均高報告書

縣府
管下第一區 小區 村 町 番地

華士族又ハ平民

何某印

一金一四

此
王
均
一
一
一

通貸交換總高

卷二

一金一四

此平均

損札交換總高

一金一四

此平均

御用預り金銀高

一金一四

此平均

貸付金総高

一金一四

此
平
均
一
月

定期預金総高

一金一一四

此
平
一
均
一
四

当坐預金總高

一金 一 一 四

此平
一均
一
四

約定預り金銀高

一金一

別段預り金共高

此平均	1 円	
一金 1 円		此平均 1 円
此平均	1 円	
一金 1 円		他より振出タル為換總高
此平均	1 円	
一金 1 円		当地ニテ割引シ当地ニテ仕拂タル割引手形總高
此平均	1 円	
一金 1 円		当地ニテ割引シ他方ニテ仕拂タル割引手形總高
此平均	1 円	
一金 1 円		他方ニテ割引シ当地ニテ仕拂タル割引手形總高
此平均	1 円	
右ハ明治一年一月一日ヨリ十二月三十一日		

ニ至ルマテ一ニ年間取扱ヒタル預リ金貸付	
金為換其他ノ總高並ニ之ヲ一日ニ平均シタ	
レ金額前書之通相違無御座候也	
明治一年一月一日	
紙幣頭何某殿	

但右雛形中掲クル所モ亦其實際種類ノ有無ニ
隨ヒ取捨増減スヘシ

卷一
二四
完

